

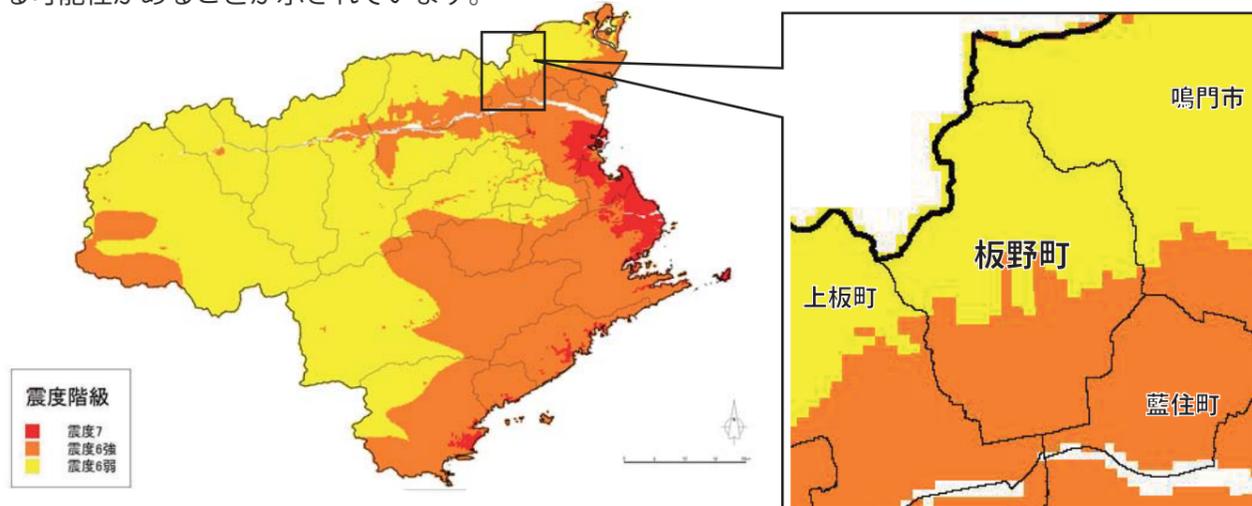
# 地震に備えよう

## 南海トラフ巨大地震

南海トラフ巨大地震とは、静岡県駿河湾から九州東方沖まで続く海溝（トラフ）沿いの広い震源域が連動して引き起こす地震で、甚大な被害が生じると想定されています。また、この南海トラフ巨大地震が発生する確率は「今後30年以内に70～80%（平成30年4月1日時点）」といわれており、「いつ起きてもいいように備える」ことが重要になっています。

### ■震度分布

南海トラフ巨大地震による震度分布をみると、県内全域で「震度6弱～7」の揺れが示されています。板野町では、全域で「震度6弱以上」となっており、特に、町南部の平地では「震度6強」の揺れが発生する可能性があることが示されています。



### ■被害想定

南海トラフ巨大地震が発生した際に板野町に想定される被害として、以下のような結果が示されています。

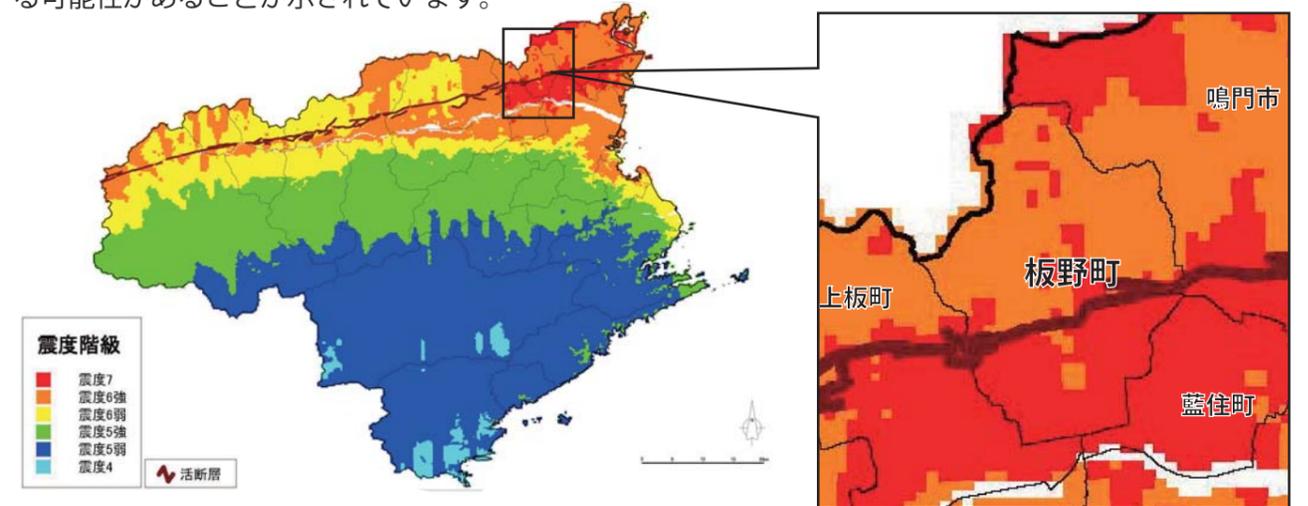
<b>建物全壊・焼失棟数</b> 約 <b>860</b> 棟 <small>冬の18時に発生した場合</small>	<b>建物半壊棟数</b> 約 <b>1,600</b> 棟	<b>死者数</b> 約 <b>50</b> 人 <small>冬の深夜に発生した場合</small>	<b>負傷者数</b> 約 <b>330</b> 人 <small>冬の深夜に発生した場合</small>
<b>上水道</b> 断水率 <b>85%</b> <small>1日後（断水人口13,700人）</small>	<b>下水道</b> 支障率 <b>100%</b> <small>1日後（支障人口3,100人）</small>	<b>電力</b> 停電率 <b>61%</b> <small>1日後（停電件数4,100軒）</small>	<b>通信（固定電話）</b> 不通率 <b>61%</b> <small>1日後（不通回線数2,300回線）</small>
<b>避難者</b> 約 <b>4,600</b> 人 <small>1週間後（うち避難所生活者2,300人）</small>	<b>帰宅困難者</b> 約 <b>860～1,000</b> 人	参照：徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第1次）（平成25年7月） 徳島県南海トラフ巨大地震被害想定（第2次）（平成25年11月）	

## 中央構造線・活断層地震

徳島県では、讃岐山脈南縁部に国内有数の断層帯である「中央構造線断層帯」が縦断しており、ここを震源とする直下型地震が発生すれば吉野川北岸を中心として甚大な被害が予想されます。なお、発生確率は30年以内でほぼ0～0.4%（平成30年4月1日時点）で、国の「主な活断層における相対的評価」は「Aランク（やや高い）」に区分されています。

### ■震度分布

中央構造線・活断層地震による震度分布をみると、県の北部で「震度6弱～7」の揺れが示されています。板野町では、全域で「震度6強～7」となっており、特に、町南部の平地では「震度7」の揺れが発生する可能性があることが示されています。



### ■被害想定

中央構造線・活断層地震が発生した際に板野町に想定される被害として、以下のような結果が示されています。

<b>建物全壊・焼失棟数</b> 約 <b>2,600</b> 棟 <small>冬の18時に発生した場合</small>	<b>建物半壊棟数</b> 約 <b>1,200</b> 棟	<b>死者数</b> 約 <b>170</b> 人 <small>冬の深夜に発生した場合</small>	<b>負傷者数</b> 約 <b>560</b> 人 <small>冬の深夜に発生した場合</small>
<b>上水道</b> 断水率 <b>92%</b> <small>1日後（断水人口11,800人）</small>	<b>下水道</b> 支障率 <b>100%</b> <small>1日後（支障人口2,800人）</small>	<b>電力</b> 停電率 <b>85%</b> <small>1日後（停電件数5,100軒）</small>	<b>通信（固定電話）</b> 不通率 <b>100%</b> <small>1日後（不通回線数3,400回線）</small>
<b>避難者</b> 約 <b>8,800</b> 人 <small>1週間後（うち避難所生活者4,400人）</small>	<b>帰宅困難者</b> 約 <b>860～1,000</b> 人	参照：徳島県中央構造線・活断層地震被害想定（平成29年7月）	

## 地震から身を守るために

### ○住宅の耐震化

町では被害の軽減を図るため、木造住宅の耐震化を支援する事業を実施しています。担当課までお気軽にお問合せください。 板野町建設課 672-5996

### ○家具の転倒・落下防止

強い揺れで凶器となったり室内の避難経路をふさぐ恐れのある家具は、L次金具や支え棒等の転倒防止器具でしっかり固定しましょう。



### ○感震ブレーカー設置

地震の揺れや停電復旧後の通電時に破損したコード類を原因とした火災を防ぐ為に、一定以上の揺れを感知して自動的に通電を止める「感震ブレーカー」の設置が有効とされています。不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

